

# 英国における日本庭園紹介の取組について

福原成雄

## 1. はじめに

2004年～2009年の6年間、英国タトンパーク、英国王立キューガーデン、日英協会、英国ジャパニーズガーデンソサエティー、カルダーストン友の会等の主催により、日本庭園の歴史、様式、技術の坐学と、小規模庭園の設計、施工、維持管理の紹介講座を行ってきた。2004年に開催されたタトンパークでの取組みから2009年に開催されたカルダーストンパーク日本庭園維持管理の取組みを中心に、その内容と英国の人々が日本庭園に対してどのように考えているのかを報告する。

## 2. 2004年英国タトンパークでの取組

### 1. 開催目的

2001年に、タトンパーク日本庭園の修復を指揮した筆者が、タトンパークと共同で、英国の方々を対象に、誰にでも優しく学べる日本庭園の講習会を行った。それに伴い、日本庭園文化と関りの深い“書”“花”を紹介し、タトンパーク日本庭園と和の融合を感じて頂こうと企画した6日間の取組みである。

### 2. 開催場所

英国 タトンパーク

Tatton Park, Knutsford, Cheshire WA16 6QN England

最寄空港 マンチェスター国際空港

### 3. 開催場所の概要

1) タトンパーク

チェシャー、マンチェスター近郊に所在するタトンパークは、タトン領主エジャトン家の領地(全体面積約800ha庭園面積約20ha)として約400年にわたって拡張整備され、1960年からは、英国ナショナルトラストにより維持管理が行われ、チェシャー地方会議によって運営されている。

RHS(英国王立園芸協会)が主催する三大フラワーショーの一つが行われる庭園としても有名である。

### 2) タトンパーク日本庭園修復事業

タトンパーク内の日本庭園(面積約0.2h)は、1910年頃に第三代アラン・デ・タトン・エジャトン卿が日本の職人を招き作庭したとされ、庭園内には日本家屋、神社、各種灯笼、富士山等を表した建築や造形物が配置されている。

庭園は、全園、ヒノキ、モミジ、ツツジ等の日本の植物が植えられ、紅葉の季節になると赤や黄色で彩られた自然の芸術に訪れる人々の目を楽しませている。

この日本庭園修復事業は、1999年大阪芸術大学海外研修制度により筆者が行った調査をきっかけに、2000年9月から2001年3月まで行った。

協力:大阪芸術大学環境計画学科・(財)日本万国博覧会記念協会・(財)都市緑化技術開発機構・英国ナショナルトラスト

### 3. 開催日程

2004年9月25日(土)～2004年9月30日(木)6日間

### 4. 開催内容

1) 講習会 日本庭園の知識・技能・文化を学ぶ

● 講習内容:

○ Day1:2004年9月25日(土) 10:00～16:00(5h)

日本庭園の様式とデザインを講義によって学ぶ

○Day2:2004年9月26日(日) 10:00～16:00 (5h)  
一日本庭園の設計実習①—古庭園のトレース表現を学ぶ(庭園図面トレース)

○Day3:2004年9月27日(月) 10:00～16:00 (5h)  
一日本庭園の設計実習②—小庭園の設計方法を学ぶ(小庭園3m×3mの敷地に日本庭園の設計)

○Day4:2004年9月28日(火) 10:00～16:00 (5h)  
一小庭園の作庭実習①—露地庭の作庭実習(屋外)(飛石の据え方、蹲居の据え方、灯籠の据え方、延べ段の据え方、竹垣の配置と作り方、植栽の配植方法)

○Day5:2004年9月29日(水) 10:00～16:00 (5h)  
一小庭園の作庭実習②—枯山水の作庭実習(景石の据え方、砂紋の描き方、植栽の配植方法)

A. 福原成雄の日本庭園の世界—Room1,Room3 44.2㎡(8.2m×5.2m)

- 筆者の英国での主な日本庭園作庭をパネルで公開展示  
英国王立キューガーデン日本庭園・1999年  
英国タトンパークフラワーショー日本庭園・2001年  
英国タトンパーク日本庭園修復・2001年  
英国チェルシーフラワーショー出展日本庭園・2001年  
ウェールズ植物園内日本庭園・2002年  
フランスロスチャイルド美術館内日本庭園・2003年  
英国王立園芸協会ウィズレーガーデン内ロックガーデン修復・2003年

企画・作成 大阪芸術大学環境デザイン学科

### 3. 英国王立キューガーデンでの取組

1995年に庭園を整備して、毎年、維持管理で訪問している。

2006年からは、日本庭園紹介講座として組入れられ、午前中に講義、午後からキューガーデン内日本庭園にて見学しながら説明を行なった。その後、教室に戻り日本庭園の設計図を作成し、それに対してアドバイスする講座を3年間

行なってきた。

来年からは、一日では時間がたりないので、二日間の日程で開催が予定されている。

### 4. ジャパニーズガーデンソサエティーでの取組

タトンパークで行なった講座で、ジャパニーズガーデンソサエティーでも毎年、開催を行ないたいと要望があり、毎年各支部のメンバーに対して行なっている。

#### 2007年度

- (1) 9月1日 タトンパーク 日本庭園協会主催  
日本庭園の説明と案内 47名
- (2) 9月2日 ネスガーデン 北西日英協会とネスガーデン主催 一日セミナー
- (3) 9月5日 ハムプトンコートパレス ロイヤル パークス主催
- (4) 9月6日 キューガーデン主催  
一日セミナー 10:30～16:00 18名
- (5) 9月8日 シェフィールド植物園 日本庭園協会主催  
一日セミナー

#### 2008年度

- (1) 8月28日 ピーターズフィールドの草葉園 日英協会主催 日本庭園の紹介
- (2) 8月31日 カルダーストーンパーク 北西日英協会主催 日本庭園の説明と案内
- (3) 9月4日 キューガーデン キューガーデン主催  
一日セミナー 10:30～16:00 24名
- (4) 9月6日 ハドローカレッジ 日本庭園協会主催  
一日セミナー

#### 2009年度

- (1) 9月12日 カルダーストーンパーク 北西日英協会主催  
日本庭園維持管理の説明と実技
- (2) 9月14日 カルダーストーンパーク友の会主催  
日本庭園の紹介



図1 公園配置図

## Liverpool Parks

- Liverpool is the only city in the UK outside London with so many parks and green spaces
- Some of the main ones are:
- Newsham Park 48.4ha (opened 1868)
- Stanley Park 18ha (opened 1870)
- Sefton Park 112ha (opened 1872)
- Croxteth Country Park (formerly owned by the Molyneux family, Lord Sefton) 208ha
- Calderstones Park 37.6ha (opened 1954)

## 5. カルダーストンパーク

- カルダーストンパークは、リバプール市アラートンの地区にあり、新石器時代(約5,000年前)の遺跡があり、その名称が付けられた。19世紀初頭に解体され何回か移転され、現在公園内のガラスハウスにあり、幾何学的な不規則な砂岩の一枚岩である。(図1参照)
- 中世に、カルダーストンの土地は、1583エーカー(640ヘクタール)として整備所有されていた。
- 1726年、家族の借金により土地の商人のトーマスマーティンによって売却された。
- 1825年、鉛、ショットメーカーのジョセフウォーカー氏が、38haの土地を取得した。
- 1875年、不動産業者のサミュエルキュナードによって買収された。
- 1905年、リバプール市に公園として売却された。
- 1914年、ハートヒル不動産の土地が追加されて49haの面積となった。
- 1931年、メイン入口フォーシーズンズの入り口からイチイの並木が建設された。
- 1935年、シルバージュビリージョージ5世と女王メアリーを記念し、並木が追加して植えられ、リバプールの最も美しい公園として市民に親しまれている。(写真1,2参照)



写真1  
Calderstones Park



写真2  
The Famous 1000 year old  
Oak Tree



写真3.4 日本庭園現況写真

### 5-1 カルダーストンパーク日本庭園

- 当時の公園職員で日本庭園の建設に関わったスティーブ氏 (Steve Perkins) に話を聞いた。
- 日本庭園は、1970年代に当時の園長であったハーリーバクリー氏 (2007年没) がスケッチを描き、ガーデナーによって作られた。(図2,3,4,5参照)
- 庭園には、樹木の幹、葉の色により計画的に植えられており、滝の落ちる音、流れの音、鹿おどしの音が何処からでも聞こえ、園路は、庭園の景色が見えるように作られた。(写真3,4参照)



図2 ハーリーバクリー氏の描いたスケッチ



図3 ハーリーバクリー氏の描いたスケッチ



図4 ハーリーバクリー氏の描いたスケッチ



図5 ハーリーバクリー氏の描いたスケッチ

## 5-2 維持管理の問題

- 樹木を植えずぎ樹木が大きくなりすぎた。
- 入口の竹垣が無くなった。
- 当初は、苔であったが砂利に変わってしまった。
- 玉石を敷いていたが安全のためにモルタルで埋込まれた。
- 灯籠が三基あったが現在は一基である。
- 池は広く、護岸に木杭があったが埋められた。
- 沢飛びはアイランドの玄武岩を使っている。
- 景石は砂岩で苔が着き易い。
- 滝は鏡石を据えている。礼拝石、三尊石組、牛石が据えられた。
- 橋には竹の手すりが付けられていた。
- 竹の笕、水鉢があったが無くなっている。
- 車いすは中に入れなかったが、現在は入れるようになって



写真5.6 2009年現2月 入口部分の現況写真



写真7.8 2009年現2月 入口から園内の現況写真

いる。

- 枯山水の庭があった。
- 竹の藤棚があったが無くなっている。

(写真5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16 参照)

## 5-3 2009年カルダーストンパーク維持管理

樹木管理 当初の設計意図を読み取る。

### 1. 庭の姿を考える。

5年後、10年後、20年後自然に大きくする形を整える

### 2. 何をさせるのか、石、池、樹木の姿、刈込み、石とのバランス、池とのバランス、樹木同志のバランス

### 3. 低木の切り戻し、笹類の切り戻し、紅葉の剪定、実生木の取り除き

### 4. 掃除

(写真17,18,19,20,21 参照)





写真9,10 2009年現2月 滝石組 池州浜の現況写真



写真11,12 2009年2月 石橋 水鉢 低木植栽の現況写真



写真13,14 2009年2月沢飛び 舗装 高木植栽 池の現況写真



写真 15.16 休憩所の現況写真



写真 17 低木の刈込み 切り戻し



写真 18 日本食の弁当 昼食



写真 19 低木の刈込み 切り戻し



写真 20 モミジの剪定 透かし 重なり



写真21 完了

## 6. 参加者のアンケート

- 庭にはあまり興味がない、けれど今日一日はとても良かった。
- 日本庭園と日本の文化の関係についてもっと知りたい。  
(JGS ノースウエスト 女性)
- とても楽しかった。剪定の実地練習はとても役に立っている。
- 剪定のテクニックについて
- 剪定の実地練習をもっと知りたい。たとえば低木を雲の形状に剪定する場合にどの枝を切り、どれを残すか、どれを固定するのか。(JGS女性)
- 一日中とても楽しかった。私は日本庭園協会が作った日本庭園があるウィロウブロック公園で働いている庭師として、とても参考になりました。
- 色々な日本庭園の様式、たとえば禅宗、神道などを学びたい。(JGS男性)

## 7. 今後の課題 (2008年10月発表)

- 1)日本庭園維持管理の手段

- 2)日本庭園の理解

- 3)英国庭園管理者の育成

- 4)維持管理の方法

- 5)日本庭園を通じた交流

## 8. おわりに

2009年9月12日(土)に一日、北西日英協会、英国日本庭園協会、カルダーストンパーク友の会のメンバーが中心となって、樹木の維持管理を行った。来年も引続き行うことが決定されたが、若い技術者の育成をどうすれば良いのかが話し合われた。実際の現場で樹木の剪定管理を行うことがなかなか出来ないのも、どうすれば良いのかも話題になった。

タトンパーク日本庭園が来年100周年を迎え、日本で研修した職員が維持管理を指導している。今後は英国人による日本庭園維持管理指導組織が必要である。